

おじいちゃん の ツヤインマスク

出雲市立長浜小学校

四年

淺津

龍清

ぼくのおじいちゃんは、シャインマスク
トを作っています。この間、出荷のためにシ
ヤインマスクカッターを入れるお手伝い
をしました。大きくてリッパなシャインマス
カッターでした。おじいちゃんは、
「フブにはりがある、おいしいシャインマ
スクカッターができるようにがんばって作って
いるよ。」

と言っていました。ぼくは、ぶどうがあまり
好きではないので食べませんが、妹やお母さ
んは、
「おいしい、おいしい。」
と言って食べています。

おじいちゃんにシャインマスクトを作っ
ていてたいへんなことを聞いたら、芽をそろ
えて出すことだと教えてくれました。春は二
十五度、夏のはじめには三十度を超えるハウ
スの中で、おじいちゃんはあせだくで仕事を

しています。ハウスから帰って来たら上はは
だかです、すごく暑そうです。ぼくは、あんな
に暑い所でかんばっていて、おじいちゃん
すづいと思います。

前は、デラウエアも作っていました。だけ
ど、ハウスがあくなくて、直すのにたくさん
お金がかかるし、おじいちゃんも年をとりま
した。デラウエアとツヤイソマスカットを雨
方作るのが大変になつたから、デラウエアを
作るのをやめたそうです。デラウエアの木が

切られている所を見ると、少し悲しい気持ち
になりました。

ぼくの家は、昔はカイゴを飼っていたそう
です。でも、ぶどうを作る家が多くなつたか
ら、ひいおじいちゃんがかいごをやめて、ぶ
どう作りを始めたそうです。ぼくの家がぶど
う作りを始めると五十七年になります。

ぶどう作りは、ハウスの温度管理、水やり
やえだのセット定、薬つけなど、たくさんの仕
事があってとても大変です。お父さんが子ど

そのころは、家族みんながぶどう作りをして
いたそうです。ぶどうの畑も今よりもちつと
たくさんあって、たと教えてくれました。お父さ
んは仕事か休みの時に、おいしいイチゴとビニ
ールハウスを直したり、枝のせん定をしたり
していました。でも、ほとんとおいイチゴと
おはあちさんでぶどう作りをしていました。
おじいちさんかも、と年をとって、ぶどう
作りが大変になった。たう、お父さんやお母さん
かぶどう作りをかわると言っていた。だ

から、ぼくも大人になって、いつかはぶどう
作りをするんだらうかと思ひます。
今は、ぶどうのえだに手がとどかないけれど、
とどくようにならたら、もっといっぱいお手
伝いをしたいです。
ひいおじいちさんか始めたぶどう畑をぶほ
くもずと守っていきたいと思ひます。そし
て、おじいちちゃんみたに、みんなに、おい
しい、おいしいと言ってもらえるツヤインマ
スカットを作りたいです。